

第74回 定時株主総会

【2023年9月1日～2024年8月31日】



2024年11月28日（木）10：00～

株式会社 文教堂グループホールディングス

第74定時株主総会

議長報告（書き起こし）

発言者（議長）：株式会社文教堂ホールディングス 代表取締役社長 佐藤協治

場所：HOTEL ARU KSP 3階 KSPホールにて

日時：2024年11月28日木曜日午前10時から定刻通りに開始されました。

議長報告（15分）
質疑応答（30分・ご質問10件）
閉会（午前10時46分）
参加株主様数：34名（最終参加人数）

本日の出席株主数、および議決権個数の報告

以下の数値は総会直前集計値です。

本日の出席株主数、および議決権個数をご報告申し上げます。

本総会において、議決権を有する株主数は、

30,135名、その議決権個数は 433,396個

でございます。

昨日までに議決権行使書をご提出またはインターネットより議決権を行使くださいました株主様は、

13,653名、その議決権個数は 150,001個

であります。

また本日まで出席の株主様は、 24名、その議決権個数は 40,093個で、

株主様の合計は、 13,677名、議決権個数の合計は190,094個

であります。

したがいまして、本株主総会の決議に必要な定足数を満たしておりますことをご報告申し上げます。

■ 監査報告

➔ 監査報告（招集通知18～21頁）

■ 事業報告

- ① 事業再生ADR計画の進捗
- ② 教室事業進捗・株主サイト運用状況
- ③ 剰余金の配当
- ④ 業績予想・ESG活動報告

■ 議案上程（招集通知22～26頁）

- 質疑応答
- 議案採決

初めに、監査報告でございます。

招集通知18ページから21ページ記載のとおり、会計監査人より、連結計算書類は、財産及び損益の全ての重要な点において、適正に表示されていること、また、監査役会より、取締役の職務執行に関し、不正行為又は、法令・定款に違反する重大な事実は認められないこと、連結計算書類に関し、会計監査人の監査の方法、及び結果は相当であると、それぞれ報告を受けております。

■ 監査報告（招集通知18～21頁）

➔ 事業報告

➔ ① 事業再生ADR計画の進捗

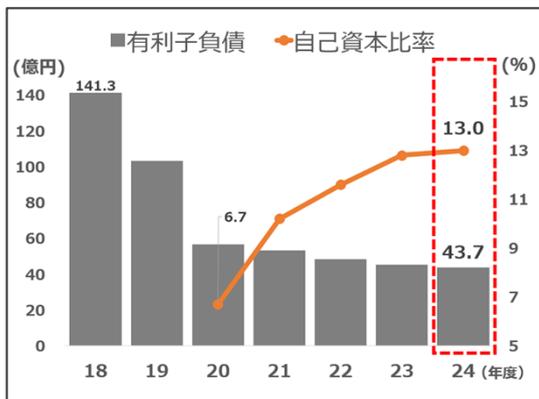
- ② 教室事業進捗・株主サイト運用状況
- ③ 剰余金の配当
- ④ 業績予想・ESG活動報告

■ 議案上程（招集通知22～26頁）

- 質疑応答
- 議案採決

続きまして、事業報告でございます。はじめに、2019年9月に成立致しました、産業競争力強化法に基づく、事業再生ADR手続きの計画進捗についてご報告致します。

事業再生ADRは、各ステークホルダーの同意のもと、事業の仕分けやリストラクチャリング、債務の株式化などを実行し、財務基盤を強化することで、持続可能な企業集団への再生を目的としております。当社の場合は、6年間の計画で、当連結会計年度を以て、5年が経過し残り1年となりました。



その間、141億円の有利子負債を、不動産の売却や、債務の株式化等によって、43億円まで削減し、債務超過から自己資本比率13%まで回復する結果となっています。

財務基盤の強化と、総資産のスリム化は、順調に推移している状況でございます。

(億円)	2020年 (70期)	2021年 (71期)	2022年 (72期)	2023年 (73期)	2024年 (74期)	累計	
売上高	計画	207.8	180.8	161.5	155.7	153.8	859.7
	実績	213.0	187.8	164.9	154.7	149.3	869.7
	計画比	102.5	103.9	102.1	99.3	97.0	101.2
経常利益	計画	1.1	2.6	2.9	2.8	2.5	11.9
	実績	3.6	3.8	0.8	1.0	0.6	9.7
	計画比	327.3	146.2	27.6	35.7	24.0	81.9
当期純利益	計画	▲1.0	2.1	2.6	2.6	2.4	8.7
	実績	2.9	3.7	0.7	1.0	0.4	8.7
	計画比	254.5	168.2	26.9	38.5	16.7	100.1

※計画比：%

損益では、5年間の累計で、

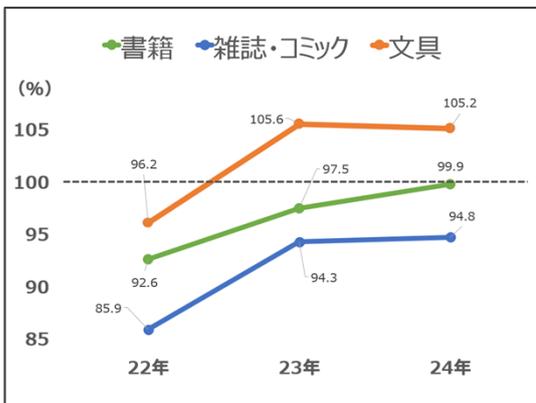
売上高は870億円、計画比101.2%、

経常利益は9億7千万円、計画比81.9%、

純利益8億7千万円、計画比100.1%でございます。

計画当初から、コロナ禍による特需や、大ヒットコミックなどの追い風がありました。しかしながら直近2年間は、物価高騰や最低賃金の大幅改定、キャッシュレス決済手数料など、販売管理費が大きく膨らみ、利益棄損の状況が継続しております。

■ 事業報告 ① 事業再生ADR計画の進捗



当連結会計年度の事業報告に移ります。

既存店舗の店頭動向は、書籍部門で前年比99.9%と比較的好調ながら、定期雑誌・コミック部門が、前年比94.8%と大きく苦戦しております。文具部門は、関連雑貨販売の強化などにより、好調を維持しており、既存店舗前年比は、24か月連続で前年売り上げをクリアし、平均5%程度伸長しております。

収益改善施策として取組んで参りました、雑誌買切り施策や、出版社報奨、出版流通改革施策は、一定量の実績が継続的に確保可能となり、前年比で14%増と、順調に推移しております。

【本屋さんのガシャボンデパート】

店舗名	所在地	オープン日
札幌ルーシー店	北海道札幌市 コープさっぽろ ルーシー店内	2023年12月7日オープン
湯川店	北海道函館市 コープさっぽろ 湯川店 2F	2024年7月11日オープン

投資活動では、不採算店舗を2店舗閉鎖し、埼玉県にございます岩槻店の活性化リニューアルで、プログラミング教室の導入、北海道地区2店舗で「本屋さんのガシャボンデパート」を導入致しました。

■ 事業報告 ② 教室事業進捗・株主サイト運用状況

“書店で学ぶ習慣が、生きる力を鍛える”
2024年度末現在
6教室 140名在籍

「教育プラットフォーム事業」の進捗と「株主専用サイト」及び株主優待のご利用状況についてご報告致します。

まず「教育プラットフォーム事業」についてご報告致します。

IT人材育成の一端を担うために導入致しました「プログラミング教育 HALL O」は当連結会計年度末で、6教室開講し現在140名の生徒さんにご利用頂いております。

昨今の物価高騰を受け、生徒獲得数は伸び悩んでおりますが、書店併設型の安心感から、生徒さんはもとより、親御様の満足度が非常に高く、地域密着型書店の潜在的な価値が現れていると考えられます。



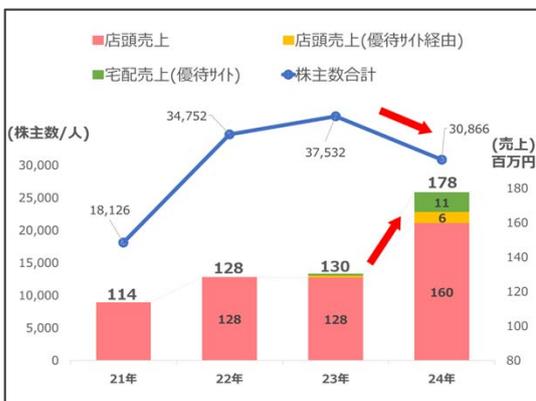
次に、脳を活性化させる様々なプログラムを専門講師のもと受講して頂く「脳活の教室」は、

模擬教室を開校してから2年余りが経過し、延べ338名の方にご利用頂きました。

ご利用の方からの、フィードバックを踏まえ、大手出版社でありますGakken様と教材や、カリキュラムを共同開発し、本年8月に、リリースさせて頂きました通り、医学博士である「川島隆太先生」の全面監修による「脳元気サロン」として新たにスタートする事としております。



なお、「脳元気サロン」の専用教室の一号店として、本年12月、八王子市にあります南大沢店にて開校予定でございます。



続きまして、昨年2月末の株主確定基準日より導入致しました、株主様専用サイトの運用状況及び株主優待のご利用状況について、ご報告致します。

現時点の株主専用サイトの登録者数は、サイトご利用可能株主様40,440名に対し9,248名の22.8%でございます。当連結会計年度で、13,100冊、1,780万円お買い上げ頂きました。

また、株主優待をご利用頂いた店頭売上は、専用サイト経由を合わせますと、1億7,800万円、前年比36%増となっております。

多くの株主様にご利用頂いておりますこと、改めまして御礼申し上げます。

■ 事業報告 ① 事業再生ADR計画の進捗

(億円)	2020年 (70期)	2021年 (71期)	2022年 (72期)	2023年 (73期)	2024年 (74期)	累計	
売上高	計画	207.8	180.8	161.5	155.7	153.8	859.7
	実績	213.0	187.8	164.9	154.7	149.3	869.7
	計画比	102.5	103.9	102.1	99.3	97.0	101.2
経常利益	計画	1.1	2.6	2.9	2.8	2.5	11.9
	実績	3.6	3.8	0.8	1.0	0.6	9.7
	計画比	327.3	146.2	27.6	35.7	24.0	81.9
当期純利益	計画	▲1.0	2.1	2.6	2.6	2.4	8.7
	実績	2.9	3.7	0.7	1.0	0.4	8.7
	計画比	254.5	168.2	26.9	38.5	16.7	100.1

※計画比：％

以上により、当連結会計年度の事業実績は、招集通知 8 ページから 9 ページに記載の通り、書籍・雑誌・文具等の小売販売は、前年比マイナス 3.6% の 148 億 2 千万円、連結売上高は、前年比マイナス 3.5% の 149 億 3 千万円、経常利益、前年比マイナス 41% の 5 千 7 百万円、当期純利益は前年比マイナス 56% の 4 千 2 百万円となり、減収減益となりました。

■ 事業報告 ③ 剰余金の配当

- 監査報告 (招集通知 18~21 頁)
- ➔ 事業報告
 - ① 事業再生ADR計画の進捗
 - ② 教室事業進捗・株主サイト運用状況
 - ➔ ③ 剰余金の配当
 - ④ 業績予想・ESG活動報告
- 議案上程 (招集通知 22~26 頁)
- 質疑応答
- 議案採決

続きまして剰余金の配当についてご説明申し上げます。

当社は、株主の皆様に対する配当金の決定は、経営の重要事項として認識し、財務体質の強化を図りながら、安定した配当を継続することが重要であると考えております。

しかしながら、剰余金の発生要因が、事業再生計画に基づく、債務の株式化が大きく影響していること、事業再生途上であり、一層の財務体質強化を図り、事業再生計画の全うこそが、ステークホルダー皆様の利益に繋がると判断し、当事業年度の期末配当金については、誠に遺憾ながら実施を見送らせて頂くことと致しました。誠に、申し訳ございません。

■ 監査報告（招集通知18～21頁）

➔ 事業報告

- ① 事業再生ADR計画の進捗
- ② 教室事業進捗・株主サイト運用状況
- ③ 剰余金の配当

➔ ④ 業績予想・ESG活動報告

■ 議案上程（招集通知22～26頁）

- 質疑応答
- 議案採決

来期、2025年8月の通期業績見通しと、事業再生ADR計画後の中期計画策定についてご説明致します。

すでに開示させていただきました通り、来期の連結通期業績見通しは、売上高が、前年同様の150億円、経常利益が20%増の7千万円、純利益が28%増の5千5百万円としています。

主な内容は、契約満了に起因する店舗閉鎖が1店舗、不採算による閉鎖店が1店舗の計2店舗の閉鎖を予定しており、新規店舗を1店舗計画しております。

定期雑誌・コミック販売の低調が予測される中、出版社報奨施策の積極的な取り組みを持続させること、好調な文具部門のさらに強化するとともに、新規商材として、トレーディングカード専門売り場を3店舗、「本屋さんのガシャポンデパート」を3店舗、それぞれ既存店舗へ増設を計画しております。

続いて、事業再生ADR計画後についてご説明致します。

事業再生ADR計画は、次年度の2025年8月期を以て終了となります。

その間、ステークホルダーの皆様には、痛みを伴う改革に対し多大なご理解とご協力頂きました。改めて御礼申し上げます。

2026年8月期以降の中期計画は、持続可能な企業集団として、社会的な企業価値を高め、時価総額を上げることを根幹に置かなければなりません。

そのためには、組織改革と相応の投資活動が必要になります。

現在、外部コンサルとともに中期計画を策定中であり、金融機関と合意がなされた段階で、開示させていただきますので、ご理解の程宜しくお願い致します。

■ 2025年8月期 通期連結業績予想

(億円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期予想	150.0	0.5	0.7	0.5
前期増減 (%)	0.5	58.6	21.5	28.4

■ 中期計画

ADR計画期間

2024年度 ▶ 2025年度 2026年度 ▶



最後に、ESG活動についてご報告致します。

初めに、ご使用済みの本を店頭で回収する「キモチと。」につきましては、昨年実施開始当初から、倍増致しまして、回収冊数、21,106冊、寄付金額は894,518円となりました。

こちらはすべて、「シャンティ国際ボランティア会」へ寄付させて頂いております。

次に、本年より参加しております、書店業界が主催しております「ブックサンタ」企画でございます。

こちらは、お客様に店頭商品をお買い上げ頂き、商品そのものを業界団体を経由して寄付するものであります。

9月下旬開始から現在まで850冊、110万円のご支援を頂きました。

最後に、厚生労働省施策であります「認知症サポーター養成講座」の開催状況についてです。

現在、川崎市と藤沢市の2拠点で開催し、延べ190名の方が認知症サポーターの認定を受けました。

また、当社社員2名が講師資格である「キャラバンメイト」を取得し、定期的な自主開催を継続しております。

■ 議案上程

- 監査報告（招集通知18～21頁）
- 事業報告
 - ① 事業再生ADR計画の進捗
 - ② 教室事業進捗・株主サイト運用状況
 - ③ 剰余金の配当
 - ④ 業績予想・ESG活動報告
- ➔ 議案上程（招集通知22～26頁）
- 質疑応答
- 議案採決

以上、事業報告を終了させて頂き、続いて、議案を上程させて頂きます。

→ 議案上程 (招集通知22～26頁)

第1号議案 取締役6名選任の件

第2号議案 監査役1名選任の件

第3号議案 会計監査人選任の件

第1号議案「取締役6名選任の件」を上程いたします。

取締役6名は、本定時株主総会終結の時をもって任期満了となります。招集通知22ページから24ページに記載の6名を一括して、取締役に選任することをお諮りするものであります。

第2号議案「監査役1名選任の件」を上程いたします。

監査役福島氏は、任期中であります。一身上の都合により辞任されることになりました。招集通知25ページ記載の1名を、監査役に選任することをお諮りするものであります。

第3号議案「会計監査人選任の件」を上程いたします。

会計監査人である、監査法人ナカチは、本定時株主総会終結の時を以て任期満了により退任致します。招集通知26ページ記載の南青山監査法人を、会計監査人に選任することをお諮りするものであります。

以上をもちまして、議案の上程を終了いたします。ありがとうございました。

■ 質疑応答

- 監査報告（招集通知18～21頁）
- 事業報告
 - ① 事業再生ADR計画の進捗
 - ② 教室事業進捗・株主サイト運用状況
 - ③ 剰余金の配当
 - ④ 業績予想・ESG活動報告
- 議案上程（招集通知22～26頁）
- ➔ 質疑応答
- 議案採決

続きまして、冒頭、株主様よりご賛同いただきました通り、株主様からのご質問、ご意見、ならびに動議を含めた審議に関する一切のご発言をお受けし、その後、議案につきまして採決のみをさせていただきたいと存じます。

（以下質疑応答内容）

（質問発言 要旨）

昨今、本屋さんで本を買うという機会がどんどん減っている。なので本を売るということは今後あまり芳しくないことが想像できるが、本屋さんは町の中心であり文化の中心である。今後新しい事業計画、教育・経験・知識などそのようなものを基軸としたコングロマリット、例えば保育園併設や先ほどありましたプログラミング教室・脳げんきサロンのような新しい業態を今後進めていくと思うが、そのスピード感・規模などが聞きたい。地方では本屋さんがなくなっている。町に本屋さんがいないところが増えている。プログラミング教室・脳げんきサロンなど自社店舗での併設をフランチャイズとして他社書店の店舗にモデル提供するなども考えているのか。

（回答 要旨）

ご指摘通り出版業界が厳しい状況であることは事実でございます。私共といたしましてはこのADR期間中は大きな投資が制限されている中、小さな投資を積み重ねながらこの教育事業を書店と併設するということを3年間やってまいりました。現在のプログラミング教室や脳活教室など、書店でどの程度の規模でどのくらいのコストで実施すればよいかを実績を取り、その手応えを感じております。26年8月期以降の中期計画においては、店頭の上昇を上げるための努力はもちろんのことですが、それ以外の利益になる柱をこの教育事業でもと、現在詳細な計画を策定中であります。

FC化の発想におきましても当然考えております。当社が発展するのはもちろんですが、やはり業界全体が継続していく持続していくことが重要であるとも考えますので、全国にある書店も参画できるようなスキームを作り上げるため、現在計画を策定中でございます。

(質問発言 要旨)

A D R 期間終了が 2 0 2 5 年 8 月、2 0 2 6 年以降の中期計画も策定中であるとのことであったが、この中期計画の中で今提示できる具体案があれば聞きたい。

プログラミング教室や脳げんきサロンなど新しい試みをしているが、これで使用した教材の本を併設している書店にてすぐ購入ができるようにしているか

(回答 要旨)

作成中の中期計画について、現段階においては具体的な案、数字的な目標も含め開示できるものはありません。現在は本業以外の事業を行い成功した事例を収集しており、何が一番書店にとって実現性の高い事業であるかを検討・仕訳している段階でございます。

教室事業で使用した教材等の販売につきまして、脳活教室等で使った教材は併設店頭ですぐ購入できます。一方プログラミング教室は F C 加盟でありその教材の店頭販売はございません。当社独自開発教室、例えば脳活教室は書店店頭で購入できる書籍を教材するということが前提でございますので、教室で受講後更なる興味を持たれた方へは、併設店店頭においてその教材以外の関連した書籍コーナーへご案内し興味を深めてもらう等を実施しております。このように併設による相乗効果を生み出していると感じている次第です。

(質問発言 要旨)

国の支援、経済産業省が発表しております書店支援について何か今後影響があるのか

トレーディングカード・ガシャポンコーナーを拡充とは、他社チェーンにも動きがあると思う。業界全体でこれらのトレンドについて、どのように把握しているのか

トレーディングカード・ガシャポンコーナーなど書籍以外の商品が当社の店舗面積構成比や売上構成比にどのように影響を与えるのか

(回答 要旨)

国の支援についての動きにつきましては、今現在の段階では具体的な動きはございません。書店の立場、消費者の立場、出版社の立場それぞれの意見を集約しているところであると聞いております。経産省の大臣も変わり政権も不安定でありますことから今後のことは分かりかねますが、議連において書店を守ろうという動きもあり、町の書店を残そうという政治的な動きは伝わってきます。ただ諸外国のような具体的な策までは議論が進んでいないようであります。当社としては、書籍販売が発展していくということは当然重要ですが、それ以前に普段本を読まなくなっていることが現実にあります。本を読むということが一番重要であると考えていますので、その点において政治的な力をもって読書を広げていってもらいたいという想いでございます。極論、通販であろうが書店であろうが本を購入し読書してもらうことが有益ではないのかと個人的には思う次第でございます。ですのでこのような意見などが集約されていることと思っておりますので、何か影響があれば随時開示させていただきます。

トレーディングカード・ガシャポンコーナーの書店導入トレンドは、急速に取り扱いをする書店が増えていると感じております。書店売上がシュリンクしているなかで、それをまかなうため、書店を継続するための施策であると考えております。

当社営業における影響度においては、売上減少分を補える程度でトレーディングカード・ガシャポンを導入と位置付けております。

トレカにおいては店舗の規模・専門性などいろいろなお店がありますが、当社はより健全で、小さなお子様も気軽に遊びに来ていただけるような書店ならではの店づくりを目指しております。専門店とはこの点において差別化していきたく考えております。

ただ、ある程度の売場面積は必要であるので、積極的に書籍売場を減らし、大きく店舗数を増やしていくということではございません。

(質問発言 要旨)

質問というよりは提案なのだが、介護職アカデミーに通いの介護の勉強をしている。そのテキストは分厚くまあまあのお値段がするものである。そのような教室への教科書・テキストの販売へ手を伸ばしてはどうか。学研のテキストであった。

(回答 要旨)

教科書等の販売についてですが、おっしゃるとおりです。我々にできる範囲は一般的に流通している書籍のご用意であり、資格アカデミー等で使われているようなテキストは扱えないかもしれませんが、学研様であれば書店でも扱える可能性があるかもしれません。こういった商品がこういった方に必要かという情報収集・マーケティングがまだまだ当社は甘いと思っております。この点においても研究し、検討させていただきたいと思えます。ご意見として承りました。

(質問発言 要旨)

B Sを見ると純資産が13億円あるが一株当たりの純資産はマイナス6.84円となっている。それがK種類株によってということであった。なぜK種類株をここだけマイナスするということが一般の人にもわかるように説明してほしい。マイナスする要因が入ったB Sを公開するということはしないのか。

(回答 要旨)

1株あたりの純資産がマイナスとなっている要因なのですが、金融商品取引法上の会計基準によるものでありこのような開示する場合、種類株合計を純資産から差し引いて開示しなければなりません。当社としましては、会計基準に則り開示しておりますのでご理解いただければと思います。

財務担当よりご追加説明いたします。

(発言者：取締役小林から)

財務担当しております小林でございます。現在開示しておりますB Sや一株当たり純資産は、金融商品取引法や会社法などのさまざまな規則に則り計算しなければならず、B SではK種類株に対する払い込み金額を資本の部に計上し、ただし一株当たりの純資産を計算する際はこの種類株を控除して計算するという会計上のルールがございます。ですので、ご質問ありましたK種類株を考慮したB Sを開示することはできません。

(発言者：代表取締役佐藤にもどる)

(質問発言 要旨)

議案とは関係ないことではあるのだが、取締役は、本をどのような媒体で読まれているかお聞かせ願いたい

(回答 要旨)

私は紙の本しか読みません。時代遅れかもしれませんがタブレット等で読んだことはあまりありません。漫画であっても小説であっても紙で読んでおります。

(発言者：取締役平岡から)

私は、基本的に書籍は紙で読んでおります。コミックなどは一部電子で試し読みし、面白いものは紙で購入しております。紙と電子、両方を利用しております。

(発言者：取締役小林から)

私は、紙の本しか読まないのですが、通勤時に必ず本を読んでおり、月10冊から15冊くらい読んでおります。

(発言者：取締役佐藤から)

私も、電子は読みづらいつと感じており、緊急性がある例えば明日の会議でこの本を読んでおきたいというとき年に1・2回程度電子媒体で読むことはありますが、日常読む本は紙で購入し、手に取れる場所に積み置くという生活でおります。

(発言者：取締役飯田から)

私は、書店である当社の役員という観点から反対の立場「電子の分野で本はどのように見えるのか」という点が知りたく電子書籍をあえて読んでいたこともございました。ただどうしても馴染めず、現在読むのは紙の書籍ばかりです。

(発言者：取締役森から)

私も、本は当社店舗が近くにあることということもあり、本屋さんで本を購入しております。週1回くらいは書店に足を運び、文庫本が中心になるが紙の本を店舗で購入しております。家族は図書館をよく利用しており、電子媒体で読書ということはありません。

(発言者：監査役宗像から)

私は、紙・電子・オーディオブックすべて利用しております。ただ、オーディオブックは自身には合わなく途中でやめてしまいました。紙か電子かという点においては、ジャンルによって変えております。電子で読むようなシーンとしてはお風呂で読むなどの時に利用しております。

(発言者：監査役福島から)

私も、ジャンルによって区別しております。書籍関係はやはり紙の本となりますが、通勤などで読むコミックは電子書籍です。

(発言者：監査役村瀬から)

私は、装丁なども楽しめまじ「紙派」です。どのような時に読むかということ、出かけるときには常に文庫本を鞆に入れ、読書を楽しんでおります。本屋さんの楽しみというのは、買う目的がなかったとしても本屋さんの店内を1周するだけで新たな本との出会いがあって、そこで思わぬ本を手に取り新しい世界が見えるというような、本との出会いを楽しんでおります。

(発言者：代表取締役佐藤にもどる)

(質問発言 要旨)

(質問発言 について) 若者代表として答えたい。漫画のような簡単に読めるようなものは電子書籍が多いかなと思う。難しい本・専門的な本などは手に取って紙でみないと頭に入らないと感ずるので紙の書籍を読むことが多いかなと思う。ただ私の周りは、電子書籍が圧倒的に多い。漫画を読む人が多いので。

(回答 要旨)

今、若者代表ということでご意見頂戴しました。ありがとうございます。

確かに漫画を電子でという方が多いことと思います。電子コミックにおいては、無料で読めるというものが相当多く、無料のものだけでも時間も潰せるし十分楽しいという声が多いと感じております。そして、その続きを購入するというはせずに、無料の範囲で楽しむという行動が多くみられます。このことが昨今のコミック売上不振の大きな要因であると考えております。電子書籍を否定はいたしません、せめてこの「無料」はやめていただきたい、すべて有料にしていきたいと思っております。テレビCMにおいてもコミックそのものの面白さよりも「無料」をアピールするものが多く、無料が当たり前になるようなこととなると書籍を販売する者として、作家さんにも申し訳なく感じるところであります。

ただこのようなことは各社企業努力によるものですので仕方のないこととは思っております。

私共としては、紙の本の有用性は非常に重要であると考えておりますので、この文化を継承すること、それはやはり当社が新たな事業も模索し持続可能な会社になるということが第一前提ではございますが、紙の本を売り続けていくということが使命であると感じております。この点を踏まえつつ中期計画等においては速やかに開示致します。何卒よろしく願いいたします。

■ 監査報告（招集通知18～21頁）

■ 事業報告

- ① 事業再生ADR計画の進捗
- ② 教室事業進捗・株主サイト運用状況
- ③ 剰余金の配当
- ④ 業績予想・ESG活動報告

■ 議案上程（招集通知22～26頁）

■ 質疑応答

➔ 議案採決

第1号議案議案「取締役6名選任の件」を採決致します

（ 賛成多数 ）

議決権行使書ならびにインターネットによる議決権行使を合わせ、過半数の賛成をもって、議案は原案どおり承認可決されました

第2号議案「監査役1名選任の件」を採決いたします。

（ 賛成多数 ）

議決権行使書ならびに、インターネットによる議決権行使を合わせ、過半数の賛成をもって、議案は原案どおり承認可決されました。

第3号議案「会計監査人選任の件」を採決いたします。

（ 賛成多数 ）

議決権行使書ならびに、インターネットによる議決権行使を合わせ、過半数の賛成をもって、議案は原案どおり承認可決されました。

（決議につきましては、ホームページ第74回定時株主総会決議ご通知（2024年11月28日）をご覧ください）

監査役に新たに選任されました平越氏よりご挨拶申し上げます。

（発言者：次期監査役平越）

平越でございます。私は弁護士登録して今年で25年目となりその間企業の社外役員あるいは学校法人の外部理事等を経験しました。そのような経験を活かし、当社において監査役の職務を全うしてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。